

## 新規実施項目のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、新たに下記の項目が受託可能となりましたのでご案内いたします。  
ご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

### 記

■実施日 平成30年 3月 25日（日）ご依頼分より

### ■新規実施項目

項目コード	検査項目	検査方法	基準範囲 (単位)	検体量	容器	保存	所要 日数	実施料	判断料
1786-19	便中カルプロテクチン	FEIA	裏面をご 覧ください	糞便 1g	30	室温	3~8	276	144 (免疫)
1905-02	脂肪酸分画(24成分)	Gas-Chroma tograph法		血液 3.0mL	X	室温	10~15	429	144 (生Ⅱ)

### ■受託中止項目

今回の新規受託開始に伴い、下記項目は平成30年3月24日(土)依頼分をもって受託中止とさせていただきます。

案内書掲載頁	項目コード	検査項目	検査方法
—	1790-19	便中カルプロテクチン	ELISA
83	0149-02	全脂質中脂肪酸分画	Gas-Chromatograph法

詳細については裏面をご覧ください。

## ● 便中カルプロテクチン〔FEIA〕

炎症性腸疾患の診断補助、潰瘍性大腸炎の病態把握に有用な腸管炎症マーカーです。

便中カルプロテクチンは、腸管の炎症度を反映する非侵襲性のマーカーです。これまで、保険適用範囲は「潰瘍性大腸炎の病態把握の補助」に限られていましたが、FEIA 法で測定した場合、「慢性的な炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病等）の診断補助」としても使用可能となりました。炎症性腸疾患が疑われる症例について腸管炎症の有無を判別することで、より効率的な内視鏡検査の実施および診断に貢献することが期待されています。

項目コード	検査項目	検査方法	基準範囲 (単位)	検体量	容器	保存	所要日数	実施料	判断料	備考
1786-19	便中カルプロテクチン	FEIA	50.0以下 潰瘍性大腸炎の内視鏡的 非活動状態のカットオフ値 300(mg/kg)	糞便 1g	30	室温	3~8	276	144 (免疫)	他項目との重複依頼は避けてください

## ● 脂肪酸分画(24成分)

新たにDHA/AA比、(EPA+DHA)/AA比、および $\omega 3/\omega 6$ 比をご報告いたします。

食生活の変遷を背景に、血中必須脂肪酸の構成割合と動脈硬化性疾患との関係が注目されています。一般的に、アラキドン酸(AA)は動脈硬化を促進、エイコサペンタエン酸(EPA)やドコサヘキサエン酸(DHA)は抑制するといわれています。

本項目では、EPA/AA比に加え、新たにDHA/AA比、(EPA+DHA)/AA比、および $\omega 3/\omega 6$ 比をご報告いたします。これらの値が低い場合、動脈硬化性疾患の発症リスクが高くなる可能性があることから、心筋梗塞などの冠動脈疾患や脳卒中のリスク等、病態把握や経時的変化の指標として期待されています。

項目コード	検査項目	検査方法	基準範囲 (単位)	検体量 (mL)	容器	保存	所要日数	実施料	判断料
1905-02	脂肪酸分画 (24成分)	Gas-Chromatography法	《追加項目》 ・ DHA/AA 比 C22:6 $\omega 3$ /C20:4 $\omega 6$ 0.27~1.07 ・ (EPA+DHA)/AA 比 0.32~1.66 ・ $\omega 3/\omega 6$ 比 0.09~0.36	血液 3.0	X	室温	10~15	429	144 (生Ⅱ)

※容器 G(ヘパリン入り)は中止となりますので、容器 X でご提出ください。